

千葉県流山市

流山市立小山小学校

■クラス数／14 クラス
 ■児童数／387 名
 ■建築主／流山市
 ■所在地／流山市十太夫 97-1
 ■敷地面積／21,139.19㎡
 ■建築面積／6,282.36㎡
 ■延床面積／9,042.68㎡（体育館 1,263.28㎡）
 ■構造・規模／鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造
 地上2階地下1階建
 ■施工期間／2008年2月～2009年3月
 ※クラス・児童の数値は平成22年3月末現在

個別・集団、学年で変わる
学習形態と学習環境。

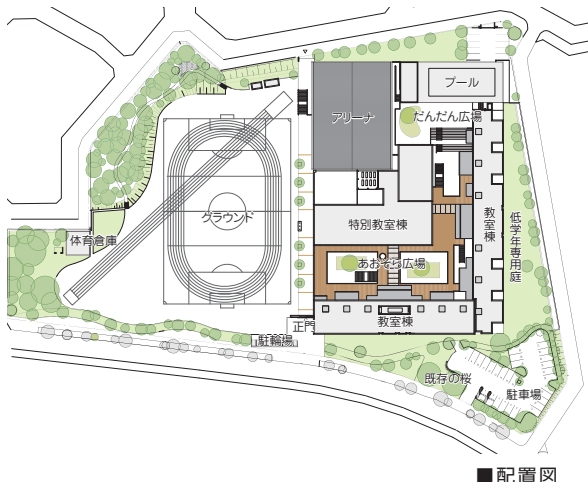
普通教室とつながる多目的スペース。6年間の心身の大きな成長や、学習や生活の変化に対応できるよう、学年ごとに特色ある教室まわりの空間構成。IT環境の充実と共に子どもたちに「学び合い」の場を提供。



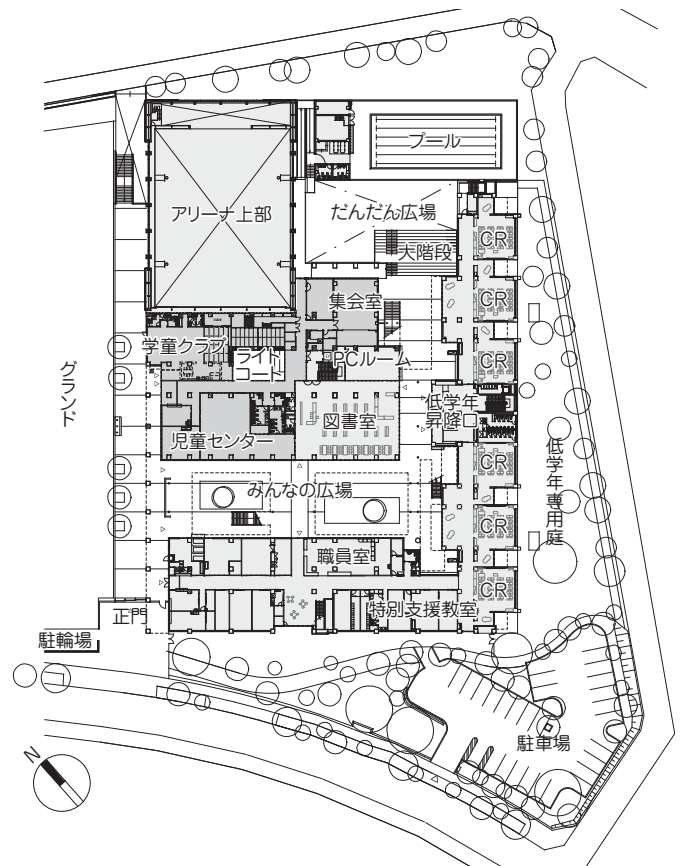
だんだん広場を中心に配置された学習ゾーンと地域開放ゾーン

計画に見られる
指針改訂のポイント

1. 多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供
2. 情報環境の充実



■配置図

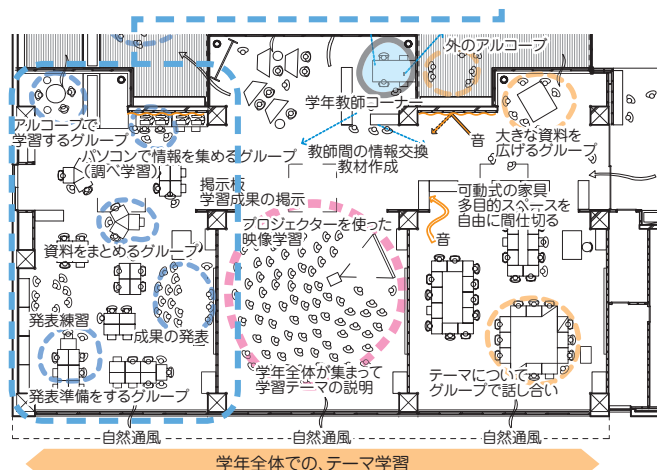


■1階平面図

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 └ 普通教室と一体的に多目的スペースを整備



1 多目的スペースと教室が一体化した学習空間イメージ



2 多目的スペースと教室が一体化した学習空間構成(中学年ユニット例)



3 多目的スペースから見たオープンな教室

校長の視点から

多様な学習が可能な 多目的スペース

豊かな心と学力をはぐむため、児童同士の「学び合い」などの多様な学習を展開しています。多様な学習を、普通教室に連続して一体的に利用できる多目的スペース（オープンスペース）で実施しています。このオープンスペースは、個別学習の場、チームティーチング、作品や教材の掲示・展示の場として利用でき、その中で児童同士の交流や関わり合いが生ま

れ、コミュニケーション能力が育成されるなど、学校生活を豊かにするスペースとなっています。また、多様な集団の大きさに対応できる集会の場としても活用でき、非常に有効です。

(図1、2)

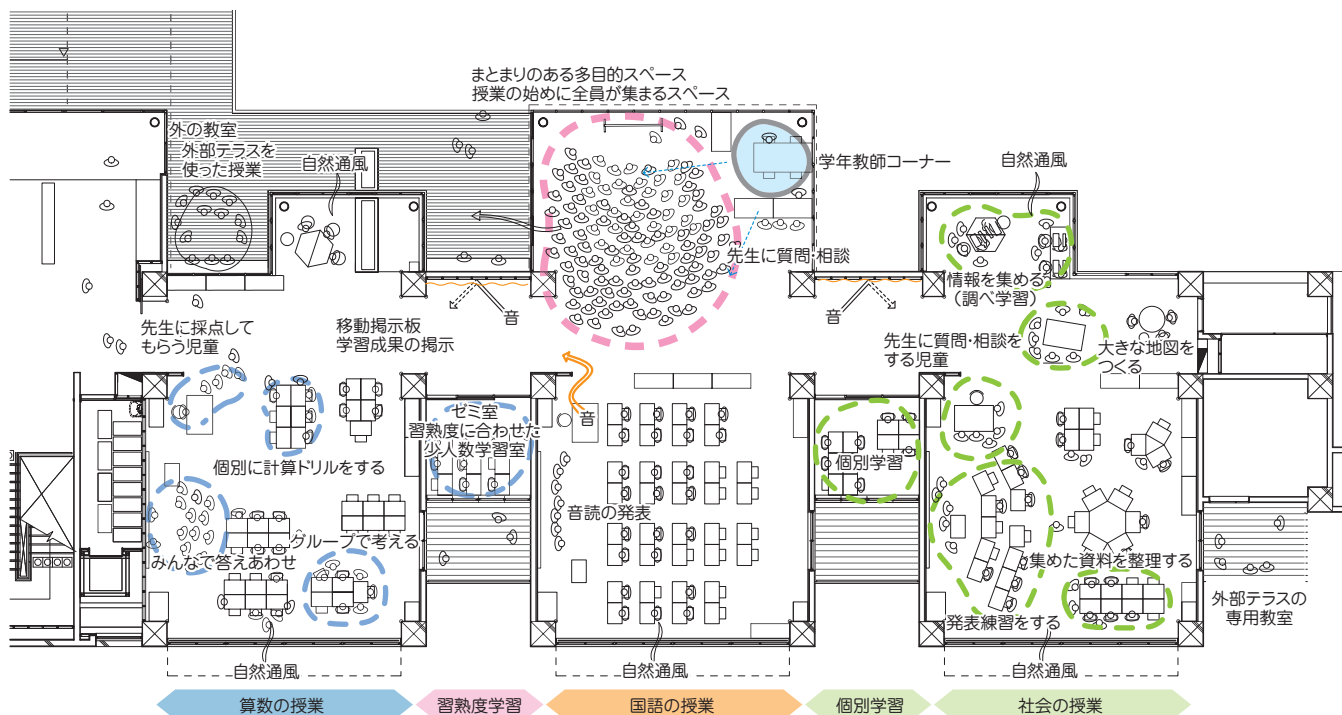
教職員の視点から

グループ学習に適した 多目的スペース

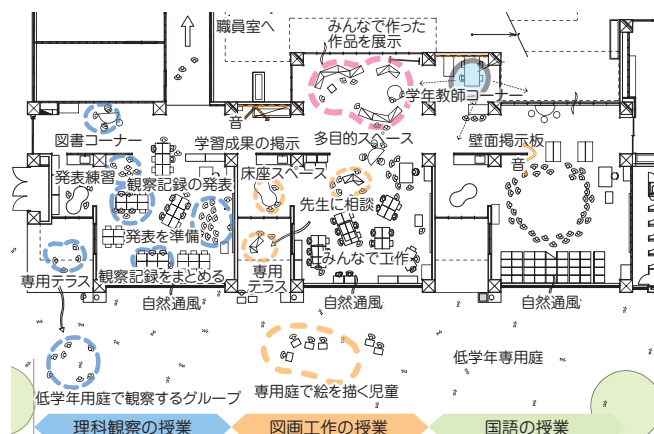
多目的スペースを使えば、2、3学級が集まれる空間が得られるため、学年単位でのグループ学習が可能です。また、学級間の交流の場としても機能しています。本校では地域の学習を取り入れており、地域の方々に、地域の特色や昔から伝わる民話を話して頂いたこともあります。

(図1、2、写真3)

多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供 多目的教室における発達段階に応じたしつらえの工夫



4 子どもたちの活動や学習形態に合わせた教室ユニット(高学年ユニット例) / 低中高学年ごとに空間構成を変えている



5 専用のワークスペースとテラスを取り入れた低学年ユニット例



6 教室と連続した多目的スペース(高学年用)



7 ゼミ室は、閉じることができ、落ち着いて集中できる空間

低学年教室にはテラスと手洗い場を付属

教室には発達段階に応じて異なる工夫がされています。例えば低学年の教室には各クラス専用のテラスと手洗い場が設けられています。教室から直接テラス（屋外）へ出入りできるようになっているため、児童たちは屋外で活発に活動する時間が多くなりました。また教室に戻ったら手洗いとうがいをする習慣が自然と養われています。(図4、5、写真6、7)

無線 LAN により どこでも調べ学習が可能に

校内無線LANにより、個人あるいはグループ学習の際にさまざまな場所でパソコンを使用した調べ学習ができます。身近な空間でパソコンに接することできるので、児童たちの興味に応じ、学習の幅も増えています。また、教室に設置した大型画面テレビをパソコンモニターとして利用し、授業に活用できるので大変有効です。さらにパソコンの基本操作や学習発表のためのプレゼンテーション資料を作成できる専用のパソコンルームも備えています。(写真8～10)

〈設計者の視点から〉

- ◎間仕切りや出入り口・窓などを工夫することにより、教室～多目的スペース～広場とつながりを持った開放的な空間構成としました。(図2)
- ◎普通教室間の音の伝搬に配慮し、天井部分の吸音性を十分確保し、教室間の多目的スペースについては、吸音壁を設けるなどの対策を行っています。(図4、5)
- ◎普通教室と多目的スペースは、児童の活動や学習形態に合わせ、低学年、中学年、高学年それぞれ特徴をもたせた空間・設備としています。(図4、5)

情報環境の充実

└ 校内無線 LAN の導入、コンピュータの分散配置



8 無線 LAN により校内各所でパソコンが利用可能



9 多目的スペースに設置されたパソコンは簡単な調べものや創作活動に利用



10 調べ学習などにも利用される専用空間としてのパソコンルーム

◎低学年ユニットはワークスペースを持った L 字型の総合学習型の教室ユニット、中学年ユニットは学年全体がまとまりのあるグループ学習に適した教室ユニット、高学年ユニットは個別学習や習熟度学習に対応するゼミ教室を持った教室ユニットとしています。(図2、4、5)

◎図書室・コンピュータルームを校舎中央に配置し、学校のラーニングセンターとして位置づけています。(写真10)

◎校内の様々な場所でパソコンが利用できるよう、校内全体に無線 LAN を整備しています。(写真8～10)

(設計／佐藤総合計画)

検討委員会委員の視点から

多様な学習活動が可能となる環境の整備の観点から

普通教室と一体的に連続した多目的スペースを計画することで、多様な学習方法や発表の場の確保が可能となり、その結果、コミュニケーション能力が育成されるなど、児童同士が学び合える環境が整備されている。

発達段階に応じた総合的な計画の観点から

低学年にはワークスペース、中学年にはグループ学習に適したオープンスペース、高学年にはゼミ室を設けるなど、発達段階に応じた児童の活動や学習形態の変化に柔軟に対応している。

情報環境の整備の観点から

校内に無線 LAN を整備したり、パソコンルームを図書館の隣に配置させたりすることで、身近な空間でパソコンの利用が可能となり、児童が自発的に調べ学習や創作活動ができる環境が確保されている。